

Yamaka Topics ヤマカトピックス

「日本食」世界中に!



農水省は海外の日本食レストラン数が先月 10 月時点で **11 万 8000 店舗**に達したと発表しました。2015 年の調査に比べ **3 割増**だそうです。伸び率を見るとアジアが 5 割増、中南米 5 割増、中東 6 割増と大きく、次いでロシア、オセアニアエリアとなっています。「日本食」の人気を裏付ける結果となりました。しかし出店する多くの「日本食店」は現地の中国人や韓国人が経営することが少なくなく、日本食とは言い難い場合もあるようです。海外に行くと新たな日本食に出会えるかもしれません。

マグロ資源回復 増枠へ



大西洋マグロ類保存国際委員会は 2020 年の地中海を含む東大西洋の **クロマグロ漁獲枠**を今年より約 **50%増**で設定したそうです。これまで同海域は厳格な漁獲規制によって資源回復が顕著になっていました。2020 年までに段階的に漁獲枠を増やしていくそうです。2015 年に日本で流通したクロマグロ 4 万 5000 トンのうち約 1 万 6800 トン 37%が大西洋産で重要な供給元でした。近い将来マグロ価格が下がる可能性があります。同海域資源は 1990 年半ばから 2000 年代半ばまでの乱獲で減少していました。



いよいよ年末!入荷状況

12月のさかな

ズワイガニ

コウバコガニ

ブリ ◎

タラ ◎

甘エビ ◎

ナマコ ◎

フグ(ムキフグ)

カキ

ヤリイカ

アンコウ



地物タラは輪島などからはえ縄ものが入荷があります。品質もよく**白子**もしっかりしていて生食用としても十分です。3~4kg台が主体です。**寒ブリ**は各産地より入荷しております。(石川、氷見、佐渡)。今期、地物の水揚げは平年を上回ると予想されています。ここ数年は低調だっただけに期待が持てます。併せてフクラギ(幼魚)の入荷も潤沢です。**地物ズワイガニ**はますますの入荷。(漁は3月20日まで)型は少し小さ目か。今のところ価格は平年並み。一方、**香箱ガニ**の入荷(漁は今年いっぱい)は各産地で少なめで、大型のものが少なく割高です。この時期の漁はカニに集中しているため、**甘エビ**などの入荷が少なめです。**イクラ**は報道されている通り数量的に少なく、価格は高騰しています。国内産から外国産や代用品にシフトする動きがあります。**カズノコ**の価格は概ね前年並み。年間でもこの時期の限定珍味とあって出荷量は抑え気味になっています。